国民年金第３号被保険者該当申立書

［　記入にあたっては、記入要領をご覧ください　］

①第３号被保険者（申立者）	氏　　名		生年月日	昭和・平成　　年　　月　　日	
	住　　所	〒　　－			
	基礎年金番号		職　　業		収　入　　万円
②配偶者	氏　　名		生年月日	昭和・平成　　年　　月　　日	
	基礎年金番号		保険証の記号番号	－	
③被扶養者となった理由 該当する箇所を○で囲んでください。	1　婚姻（令和　　年　　月　　日） 2　退職（令和　　年　　月　　日） 3　雇用保険・出産手当金受給終了 日額（　　円）・受給期間（令和　　年　　月　　日　～　令和　　年　　月　　日 4　配偶者の被用者年金加入 5　収入の減少 6　その他　（　　）				

④第３号該当年月日	平成・令和　　年　　月　　日
⑤被扶養者であることが確認できない場合 該当する箇所を○で囲んでください。	ア　申立者が健康保険の任意継続被保険者 イ　配偶者が国民健康保険組合の被保険者 ウ　配偶者が厚生年金第四種被保険者又は船員任意継続被保険者 エ　配偶者が転勤・退職のため オ　その他（　　） （注）上記に該当される方は、生計維持が確認できる書類（記入要領参照）を添付するか、扶養事実の確認が必要になります。
⑥被扶養者となった理由等 証明を受けることができない期間を記入し、証明を受けることができない理由に該当する箇所を○で囲んでください。	◎ 平成・令和　　年　　月　　日　～　平成・令和　　年　　月　　日の証明は、下記理由（該当箇所に○）で受けられませんが、その期間は事実上扶養されていました。 １．健康保険の扶養届が遅れたため ２．届出が必要であることを知らなかったため ３．＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

上記のとおり相違無いことを申し立てます。

令和　　年　　月　　日

日本年金機構理事長　殿

申 請 者 氏 名

（第３号被保険者）

《記入要領》

１．①～③は必ず記入してください。
２．①の職業欄は、専業主婦・学生・農業従事者等、具体的に記入してください。
３．①の収入欄は、恒常的な収入として見込まれる勤労所得・資産所得・その他の所得（例：年金・失業給付など）の年間推計額を記入してください。
４．③の３、失業保険を受給されていた方は、受給していた期間及び金額のわかるもの（雇用保険受給資格者証の写しなど）を添付してください。
５．④欄は、第３号被保険者に該当となる申出日を記入してください。
６．⑤欄に該当される方は、第３号該当年月日（申出日）において生計維持が確認できる次の書類（医療保険において扶養認定されている場合は不要）を添付するか、扶養事実の確認を受けてください。
(1)申立者の収入が明らかとなる書類（例：非課税証明書・課税証明書・給与明細書・年金証書など）
(2)申立者と配偶者の身分関係が明らかとなる書類（例：住民票謄本（記載事項省略されていない住民票）など）

扶養事実確認欄	第３号被保険者は、該当日において配偶者に生計維持されていることに相違ないことを確認する。 令和　　年　　月　　日 職　名 所属所長 氏　名

７．⑥欄は、（事業主への）届出が３０日以上遅延した場合、当該日から届出日までの扶養の事実と届出日が遅延した理由を記入してください。